

# 令和 8 年第1回定例会代表質問会議録（中島章二）

## 「日田市教育大綱について」

2026年3月5日(木)13:20~14:30

### ○8番（中島章二） [登壇]

通告に基づき市民クラブを代表して代表質問を行います。

次に、大きく2項目め、日田市教育大綱について伺います。

平成26年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育の中立性、継続性、安定性を確保しつつ地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会の連携の強化、地方に対する国の関与の見直しを図ることなどを目的として教育委員会制度が見直されています。この制度において地方公共団体の長は教育大綱を定めることが義務づけられました。

教育大綱は地域住民の意向により一層の繁栄と地方公共団体における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るため教育総合会議の場において教育委員会と協議して定めるもので教育の目標や施策の根本的な方針となるものです。これまでの日田市教育大綱は令和4年度から9年度までの実施期間とされていましたが、今回、予定よりも早く教育大綱を変えています。教育大綱が大きく変わるとことは本市の教育が変化することにつながると考えますが、現在において教育を変える必要性があるのか、伺います。

次に新しい教育大綱の基本理念「Take Action for the Future 学び、考え、行動する 未来の社会を創るのはわたしたち」とは具体的にどのような考え方なのか、お答えください。教育大綱を変えるということは日田市教育行政実施方針も大綱の理念を含んだものとなると考えますが、教育大綱に沿ったこれからの日田市教育行政実施方針の考え方をお聞かせください。そして、具体的にはどのような施策、取組を考えているのか、伺います。

以上で壇上での質問を終え、答弁を聞いて質問席から再質問させていただきます。

### ○議長（三苦 誠） 市長。

### ○市長（椋野美智子） [登壇]

次に日田市教育大綱の基本理念についてお答えします。

まず、なぜ今教育を変える必要があるのかについてでございますが、今、子供たちを取り巻く社会は人口減少、AIをはじめとするデジタル化の急速な進展、グローバル化などにより大きく変化しております。そして、子供たちが生きていくこ

れからの社会の変化はもっと大きく私たちの予想をはるかに超えていくと思われま  
す。そのような中で子供たちに求められるものは、自ら問いを立て情報を収集し、  
多様な仲間と協働して答えを見つけ、新しい何かをつくり出し、社会をよりよい方  
向に変えていく力であると考えています。

そんな力を子供たちが得るためには画一的な一斉授業を中心とした学習方法を見  
直していく必要があります。また、子供たちはそれぞれが多様な才能、資質を持っ  
ており、それをいかにして伸ばしていくのかなど一人ひとりが持つ長所や強みに着  
目し可能性を引き出すという視点も必要です。このようなことからこれまでの教育  
を変えていく必要性を感じ、今回、日田市の子供たちの教育の方向性を定める教育  
大綱を見直したところでございます。

次に基本理念「Take Action for the Future 学び、  
考え、行動する 未来の社会を創るのはわたしたち」とは何かについてございま  
す。

今回、大綱を見直すに当たり基本理念はイメージしやすく前向きな表現としての  
フレーズを使いたいと考えたところでございます。未来や前に進む気持ち、また教  
育を受ける当事者である子供たち、そして私たち大人を含めた市民の皆様にも当事  
者になっていただき、行動しよう、変えていこう、そして社会をつくっていこうと  
いう思いを込めて「Take Action for the Future 学  
び、考え、行動する 未来の社会を創るのはわたしたち」としたところでございま  
す。

以上、私から御答弁を申し上げ、その他につきましては担当部長から御答弁申し  
上げますのでよろしく願いいたします。

○議長（三苦 誠） 教育長。

○教育長（江嶋久典） [登壇]

私からは8番議員の御質問のうちまず日田市教育大綱に関しこれからの日田市教  
育行政実施方針の考え方についてお答えします。

この方針は教育基本法第17条に基づき政府が定める教育振興基本計画を参酌し  
日田市の教育振興のための施策に関する基本的な計画を定めたもので、現在、方針  
案を作成しパブリックコメントを実施しているところでございます。

日田市教育行政実施方針の考え方についてでございますが、市長と教育委員会が  
地域の教育課題やあるべき姿を共有し同じ方向を向いて教育行政を推進していく必  
要がございますことから、教育大綱と整合性を図り、より具体的な取組方針を示す  
ものと捉えているところでございます。

次に教育大綱に沿った具体的な施策、取組についてでございます。

今回の大綱の見直しにおいては、市長の答弁にありましたように、基本理念を「Take Action for the Future 学び、考え、行動する 未来の社会を創るのはわたしたち」とし、この理念に基づき3つの基本方針を打ち出しております。

1つ目は学びを変えろという方針です。従来の一斉授業スタイルだけではなく子供たちが自ら学び多様な他者と対話して学び合う学習を充実させてまいります。そのために教師は子供たちの声を聴き可能性を引き出すことを目指してそろえる教育から伸ばす教育へ転換を図ります。具体的には学ぶ楽しさを実感できる授業への改善やデジタル学習基盤の活用、多様な人材を活用した学習機会の充実などがございます。

2つ目は学校を安全で安心な場所にするという方針です。学校は、本来、安全で安心な場所であるはずで、犯罪や災害から子供たちを守ることを第一に、防災教育や情報モラル教育また日本版DBS活用の徹底などに取り組んでまいります。そして、近年増加傾向にある不登校の子供たちへの対応といたしましては様々な支援を通じ誰一人取り残さず安心して学びを進められるよう取り組みます。

3つ目は「ひた」の子どもを地域とともに育むという方針です。子供たちを育てるのは家庭と学校だけではありません。そのため地域学習や体験学習を通して日田の魅力を学ぶとともにコミュニティ・スクールの推進や部活動の地域展開などを通じ地域と共に子供たちを社会へとつなげていく取組を推進していきたいと考えております。

○議長（三苦 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） それでは、再質問に移させていただきます。

教育大綱のほうからいかせていただきます。

新教育大綱では、「子どもの「今」も「未来」も大切に」として「学びを変える」「学校を安全で、安心な場所に」「「ひた」の子どもを地域とともに」、先ほど御答弁いただきましたが、3つの方針で教育に取り組むとされていますが、実際、学校現場では具体的に取組をどのように行うのか、お伺いいたします。

○議長（三苦 誠） 教育長。

○教育長（江嶋久典） 現在、市教委として小中学校に示しております日田市学校教育の重点方針というのがございますが、これには「学びに向かう学校づくり」と「安心な暮らしのある学校づくり」を学校づくりの両輪としてその実現に向けては人との関わりや体験活動を通して学ぶ機会の充実を図ることとしておるところでございます。したがって、「学びを変える」「学校を安全で、安心な場所に」「「ひた」の子どもを地域とともに」という新しい大綱で示された3つの方針とこれまで

学校教育が大切にしてきた視点は共通しているものと考えております。

今後、本教育大綱を基に日田市全体で取り組む内容や目指す方向性については学校と共有してまいります。学校現場での具体的な取組につきましては学校や児童生徒の実態、地域の実情等を踏まえて3つの方針の実現に向けた取組となるよう学校現場の教職員を指導、助言、また支援してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（三苫 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） 今回「画一的な「そろえる教育」から一人ひとりの特性を活かした「伸ばす教育」という文言がございます。こちら、これまでの教育は画一的なものであったのかなという。それを「そろえる教育」と表現してこれからは一人ひとりを伸ばしていこうという教育に転換していくという大きな転換ではないかと感じているところでございます。

文科省のほうの動きもあるのかと思っているところでございますが、実際、このそろえる教育から伸ばす教育へ学校現場ではどのような考え方で取り組んでいくのか、お伺いいたします。

○議長（三苫 誠） 教育長。

○教育長（江嶋久典） 先ほども御答弁の中で申し上げたところではございますけれども、この伸ばす教育に取り組んでいくために端的に申し上げますと目指す学びの姿として大切なのはこれから個別最適な学びと協働的な学びを一層推進していくことというふうに考えております。同じペースで同じことを同じ方法でというこれまでの一斉学習だけではなくということ捉えているところでございます。

以上でございます。

○議長（三苫 誠） 8番 中島議員。

○8番（中島章二） 私もいろいろ調べたところ加賀市のほうでそろえる教育から伸ばす教育ということで先進的に取組をされているということで、ちょっと事例を見ると非常に授業の形態が大きく変わってきているのかなというところを感じたので先生方のこれからの授業の進め方も大きく変わっていくのではないかとこのところを懸念しているところです。こういったところでこの伸ばす教育への転換ということ学校現場にもしっかりと周知していただいて先生方と一緒に子供たちのこれからのために教育現場をつくり上げていただきたいと思っているところでございます。よろしくお伺いいたします。